

薬連ハイライト

自民党薬剤師議員の新たな役職が決定！

○8月3日に発表された第三次安倍第三次改造内閣でとかしきなおみ衆議院議員が環境副大臣に就任した。

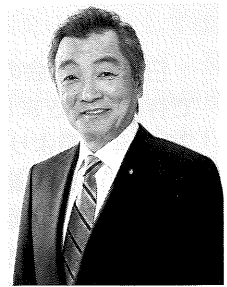


前列向かって左から二人目がとかしきなおみ議員

○8月8日に発表された自民党党内人事で松本純衆議院議員が国会対策委員会委員長代理に就任した。

※国会対策委員会（国対）とは
国会運営に関して他党との折衝を行う一方、自党の所属議員に対して党議の徹底などの統制も行う。

議院運営委員会（議運）とは
表裏一体の関係。



○同じく藤井もとゆき参議院議員が組織運動本部本部長代理に就任した。衆議院から小淵優子氏が就任した。

※組織運動本部とは

団体総局、地方組織・議員総局、女性局、青年局、労政局、遊説局からなり、自民党が多く国民と交流して支持を広げ、選挙を通じて綱領に掲げる理念の実現を目指す自民党の政治運動全体について責任を持つ。



もとゆき便り

平成30年度予算概算要求

自由民主党組織運動本部本部長代理
参議院議員・薬剤師
藤井もとゆき

今般の内閣改造に伴う自民党役員人事において、総務会に引き続き所属するとともに、新たに組織運動本部の本部長代理に任命されました。自民党の組織強化と政策運営の決定という重要な2つの役割を担うこととなりますが、安定した政治体制の構築と我が国の持続的な成長のため、努めて参りたいと思います。

さて、平成30年度予算一般会計の概算要求総額は、約101兆円と4年連続の100兆円超えとなりました。厚生労働省の要求総額は、前年度当初予算に比べて7,426億円増の31兆4,298億円、このうち医療・介護・年金等に係わる経費は6,491億円増の29兆4,972億円と、いずれも過去最大規模となりました。また、高齢化に伴う増加額は6,300億円となっています。

薬剤師・薬局に関連するものでは、高齢者のポリファーマシーの増加に伴う副作用の増強や薬物相互作用の発現等の問題に対応し、高齢者の薬物療法について各種ガイドラインの整備やNDBや副作用情報のデータ解析など、高齢者の安全対策や適正使用の

推進を図る事業に2億1,000万円の他、添付文書等の情報では対応が困難なものについて、患者への情報提供に活用できる解説・応答要領を作成し、PMDAナビを通じて発信する事業、医薬品卸販売業者への都道府県担当職員による合同模擬査察や研修等を実施し、査察技術の向上と監視指導の平準化を図る事業を新規に要求しています。また、かかりつけ薬剤師・薬局として地域包括ケア等に貢献するモデル事業の実施等、「患者のための薬局ビジョン」の早期実現を目指す事業費として、前年比約4,500万円増の2億3,800万円、違法薬物対策を推進する事業費として、前年比約1億5,000万円増の4億1,600万円を要求しています。

来年4月には医療報酬と介護報酬の同時改定が控えており、年末の予算編成に向け、政府、与党内で激しい議論が交わされるものと思われませんが、必要な予算の確保のために全力で取り組んで参ります。

藤井議員に関するご意見・ご要望等がございましたら、全国藤井もとゆき薬剤師後援会（下記アドレス）までご連絡くださいますようお願いいたします。

zenkoku@mfujii.jp